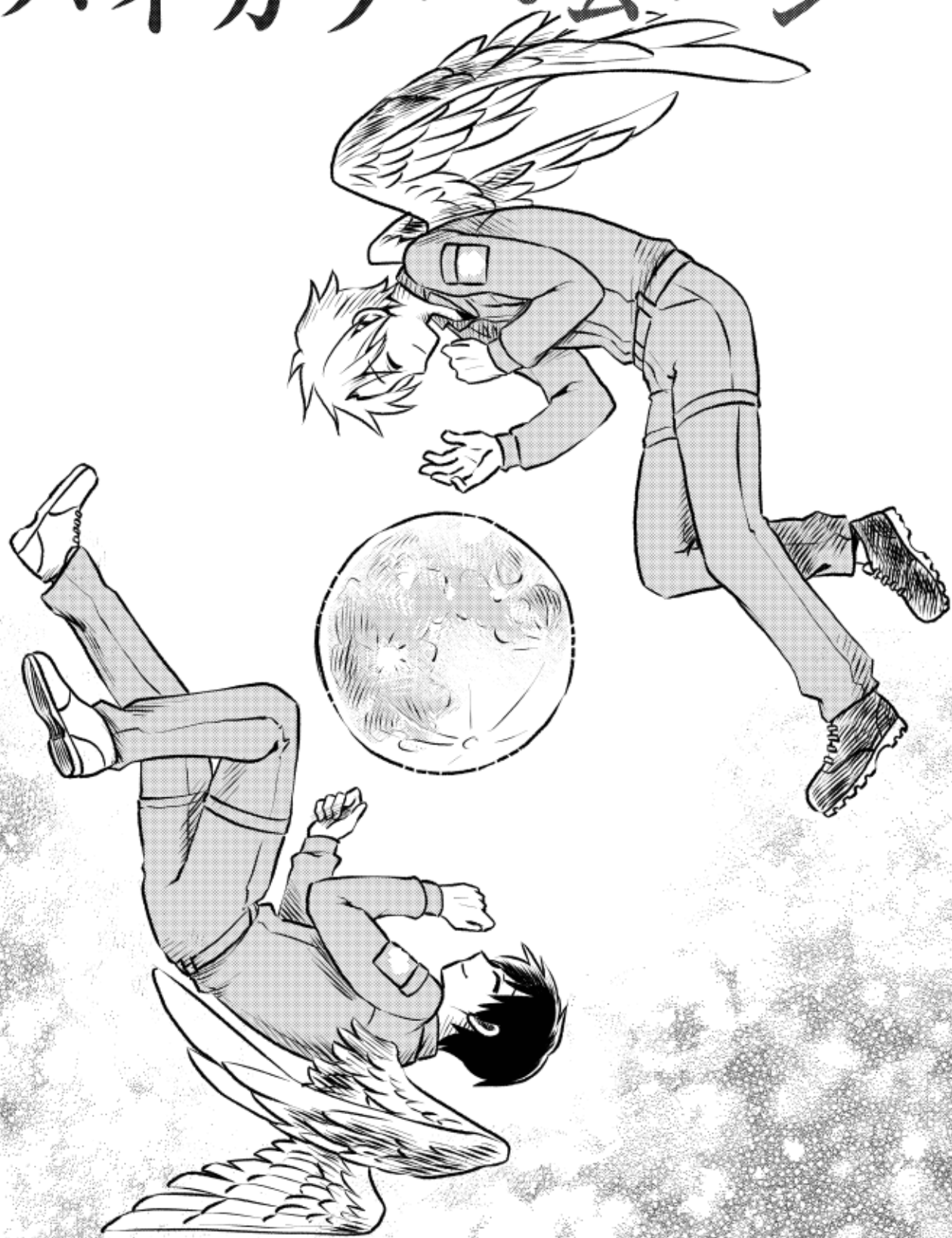
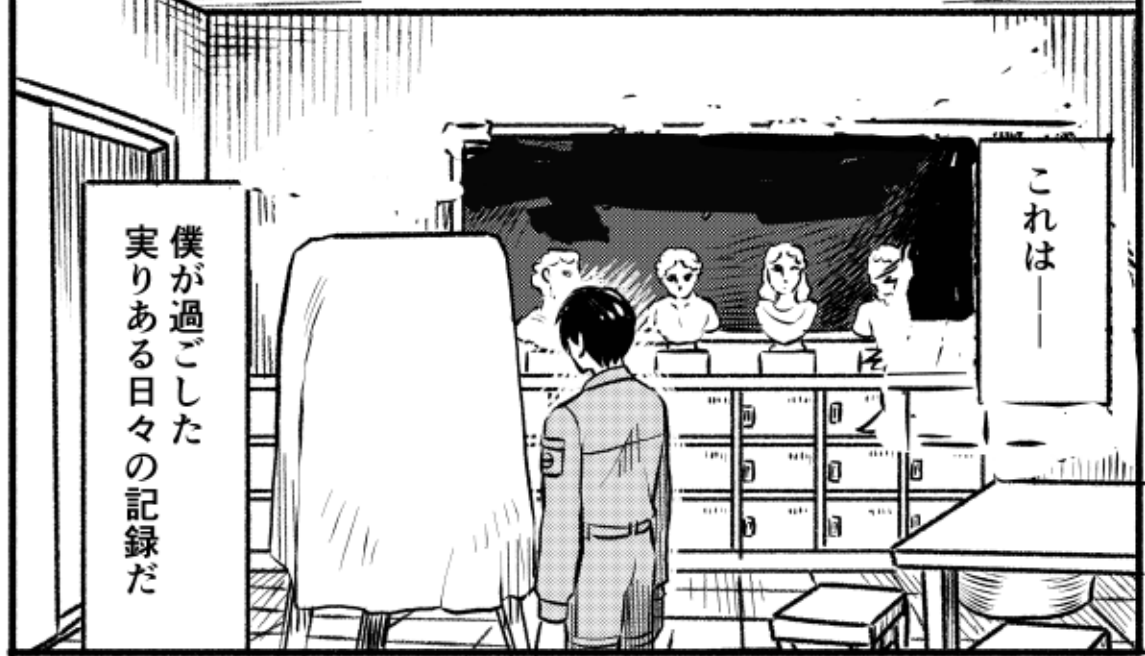
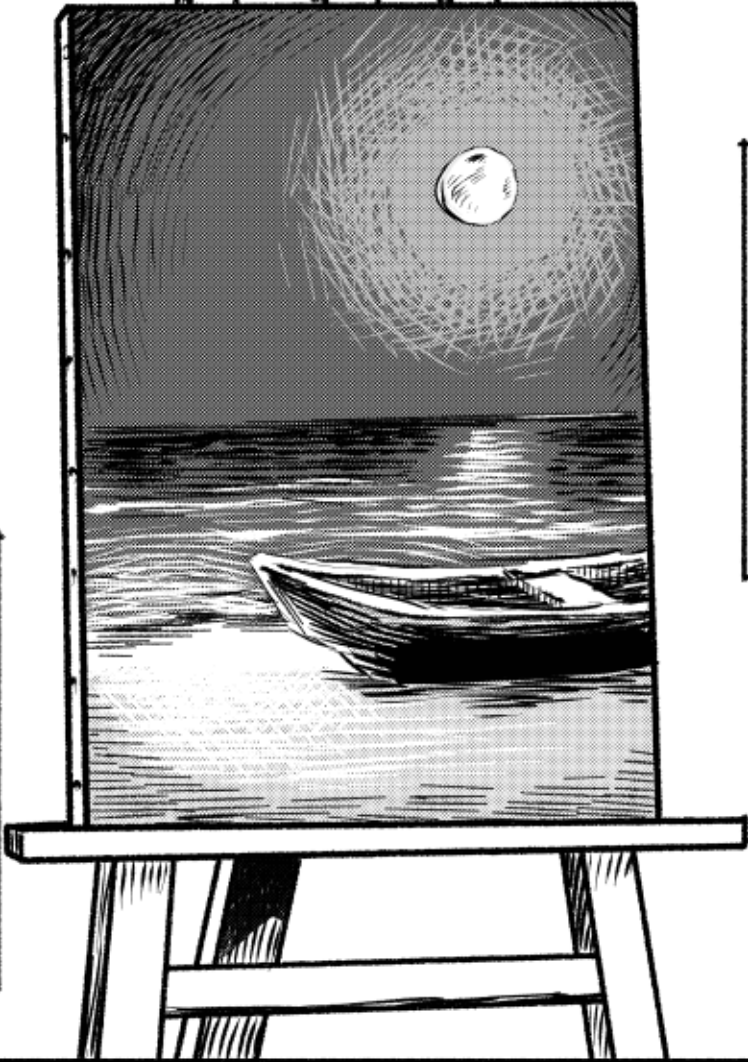


バイカラー・ムーン







みんなに知ってほしい

——この学園の
すばらしさを

ここには
いるのは
みんな

次世代の
リーダー候補
たちだ

学園生活を
送る上での
決まりだが

学園



二 消灯起床時間は
厳守



一 許可なく
同室の生徒以外と
コミュニケーションを
とらない



三 トイレは
廊下の
突き当たりだ
授業前に必ず
用を済ませる

四 ルールを
破った者には
ペナルティがある

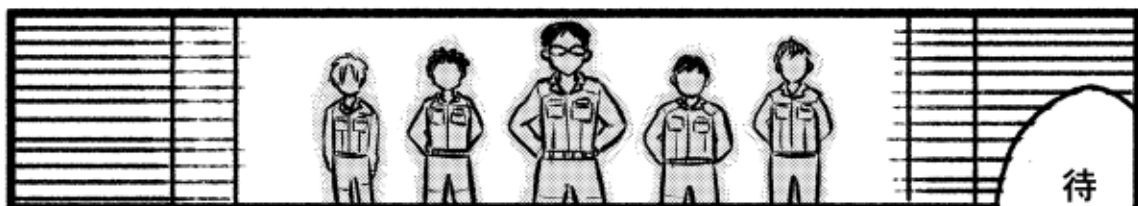
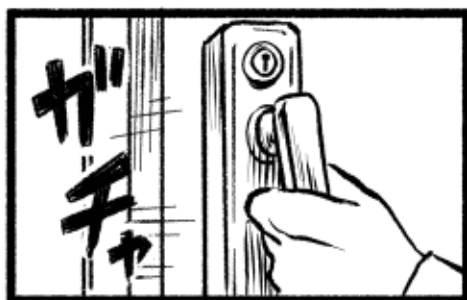
五 優秀な生徒には
『特別な賞』を
与える



ここでの学びは
必ず将来の
飛躍につながる

先輩たちは

君を迎える日を
心待ちに
しているだろう





鈴木渉です

よろしく
お願いします



あとのことは
室長に
任せる

はい!



久しぶりの
新入りだな



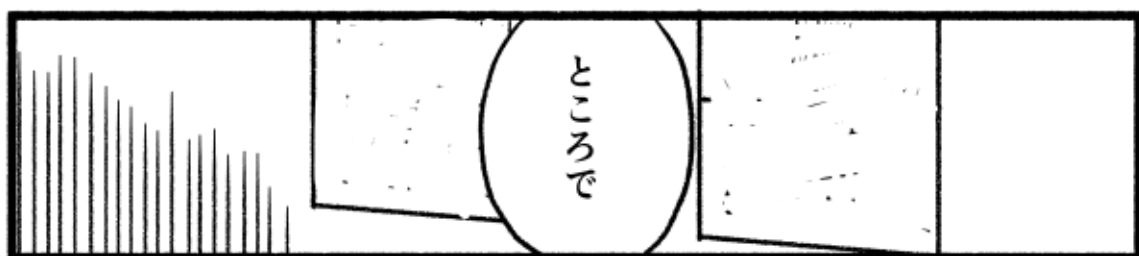
鈴木君

研究院へ
ようこそ!

共に学ぶ
仲間が増えて
嬉しいよ

よろしくな
鈴木!





特例優等賞？

そう

特別に見込まれた
ヤツだけが
受けられる

でも
名前しか
知らない

……
へえ

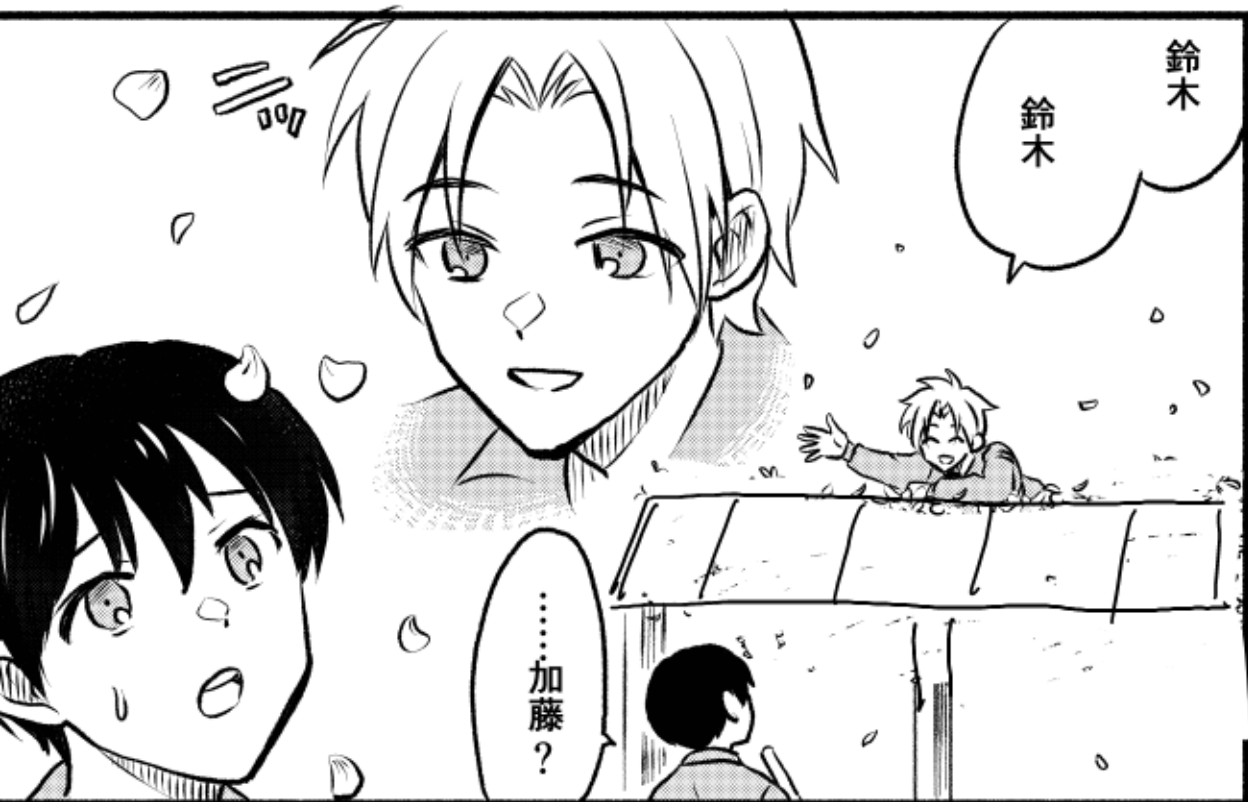
選ばれると
寮もカリキュラムも
オレたちと変わる

だから
どんな内容なのか
誰も知らないんだ

でもそれは
間違いなく

我々の未来を飛躍させる
すばらしいチャンスだ！









斉藤……



元気か

よう!

斉藤 哲也



ストン



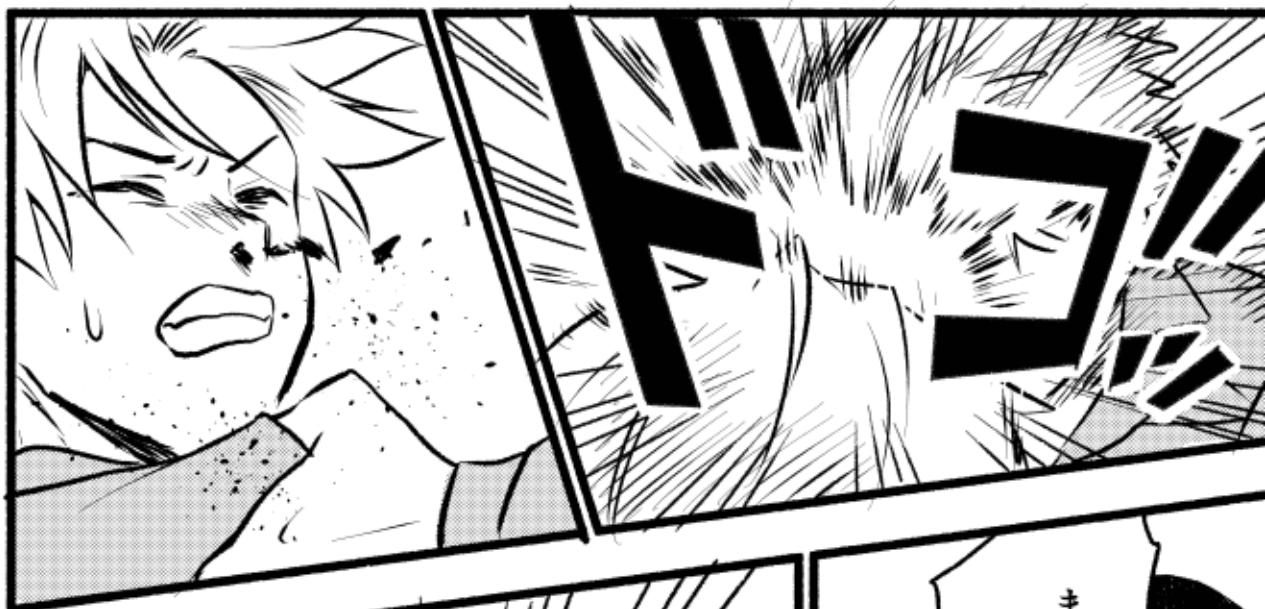
そんなところに
上ってたのか

やあ



ケガしたら
どうすんだ

危ないだろ！



そこで
何してる！

君たち！



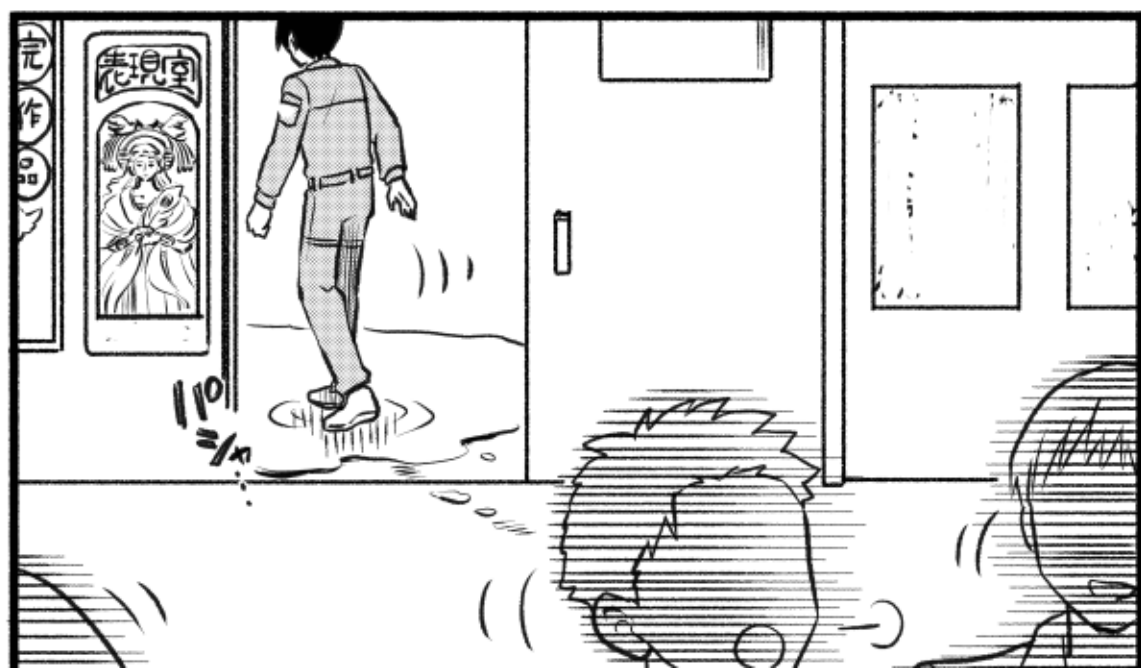
ま

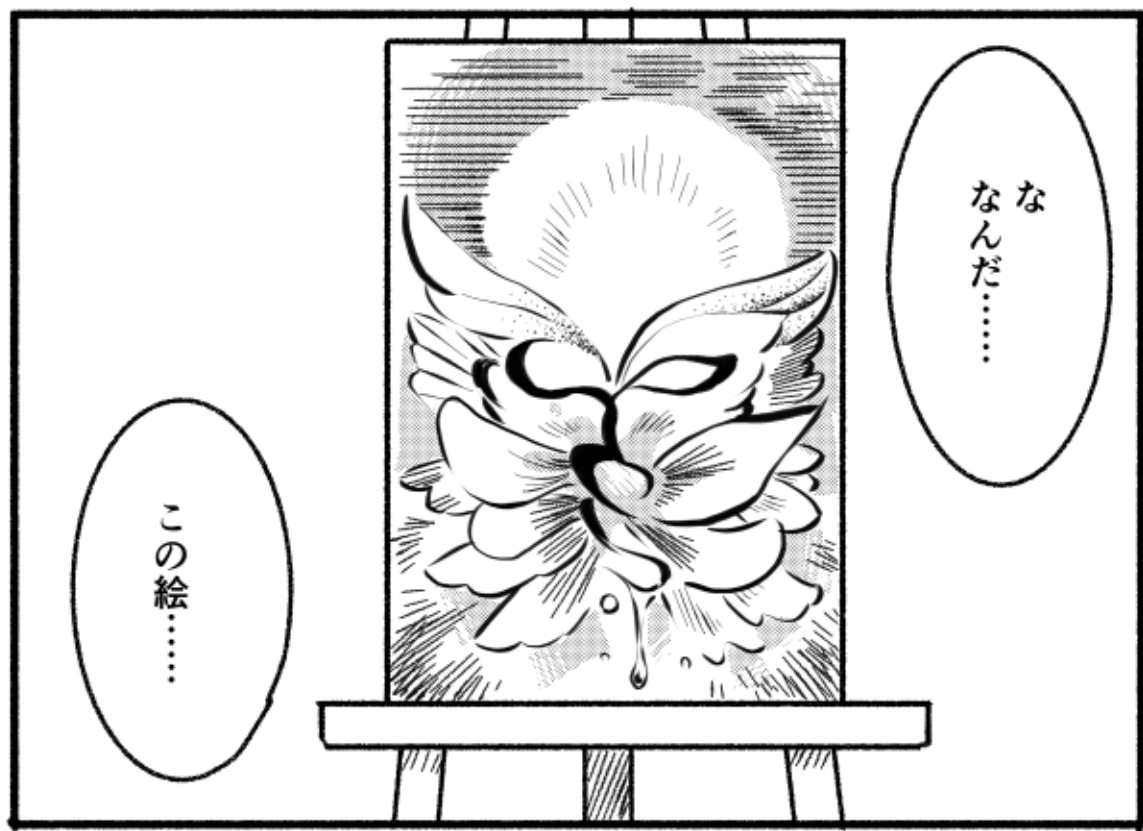
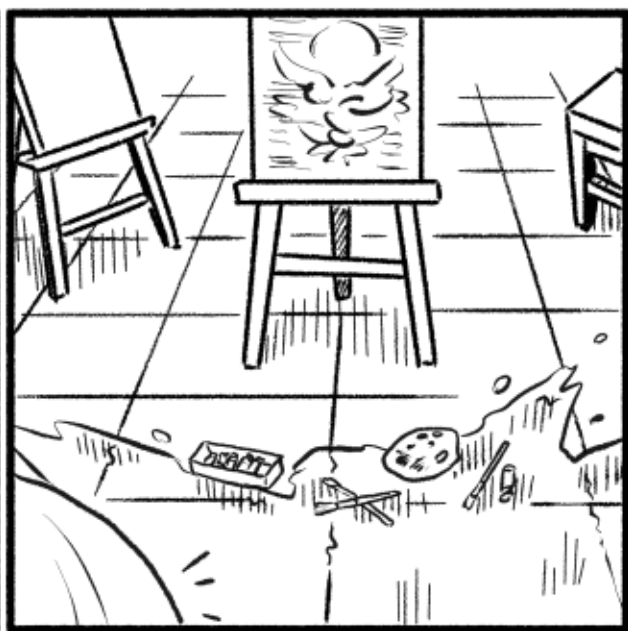
まあまあ……

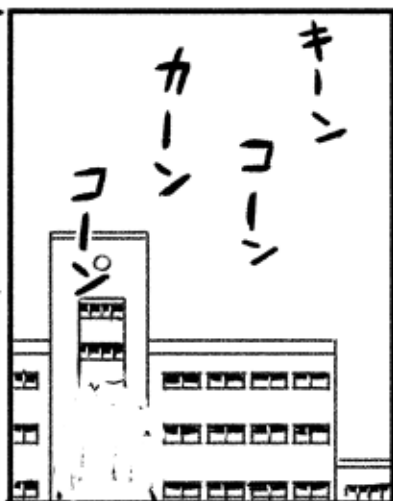
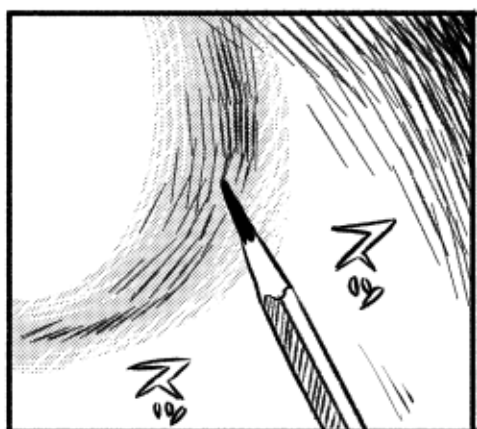














ウルトラ
ビリーだよ
少年チェンジの！



ウルビリって？

はあ？

お前どうやって
ウルビリよけて
生きてんだよ

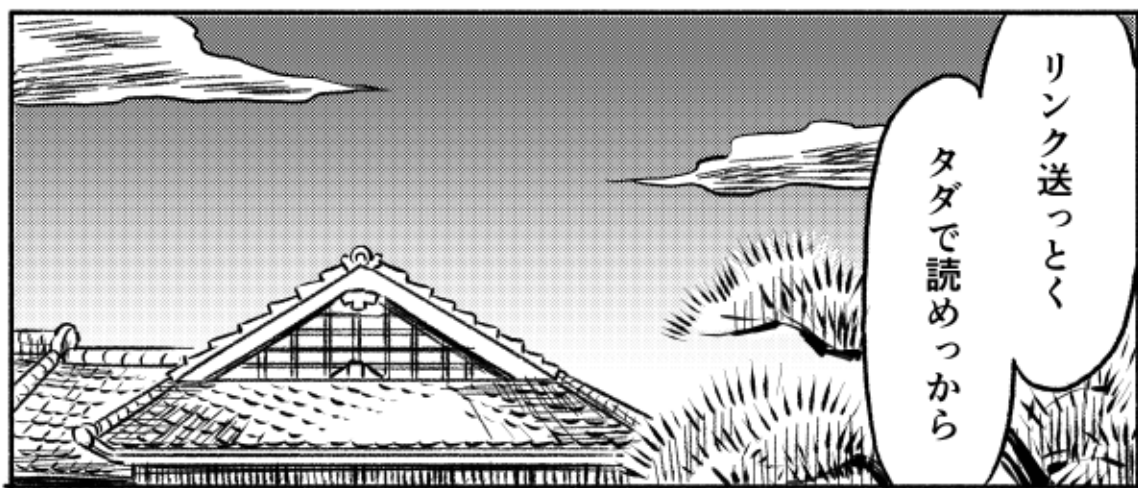


ウルビリ
読んでないとか
青春ムダにしてるって

マジかよ……

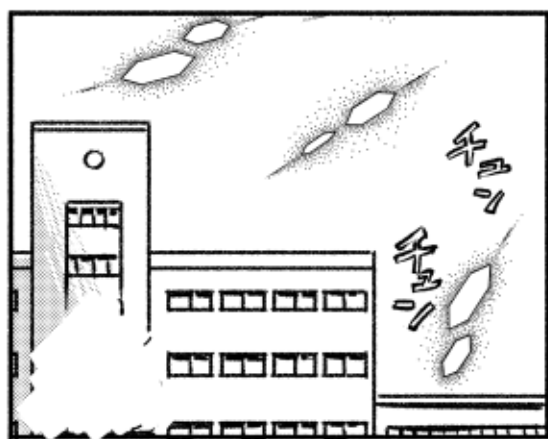
ああ
うちマンガ
禁止だから

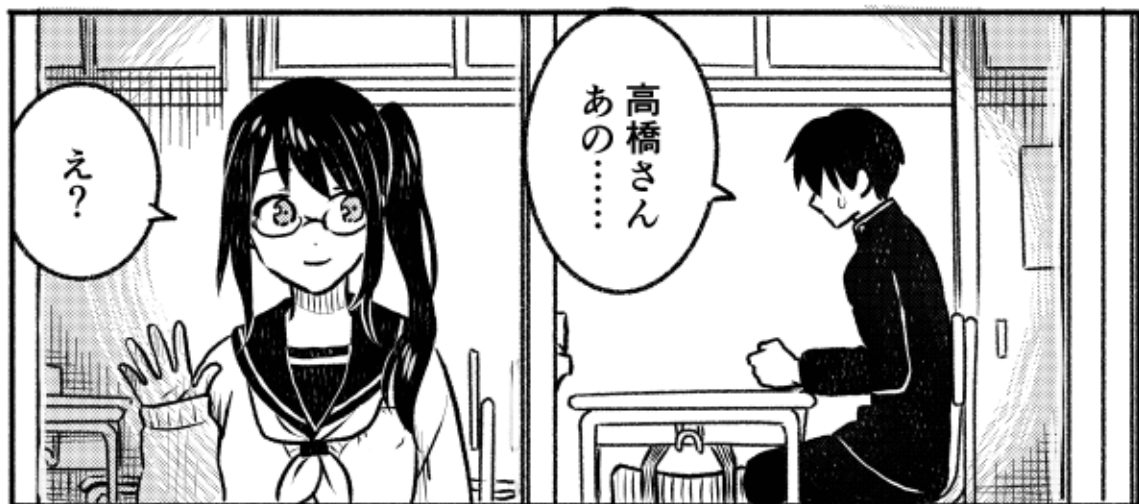
カッ

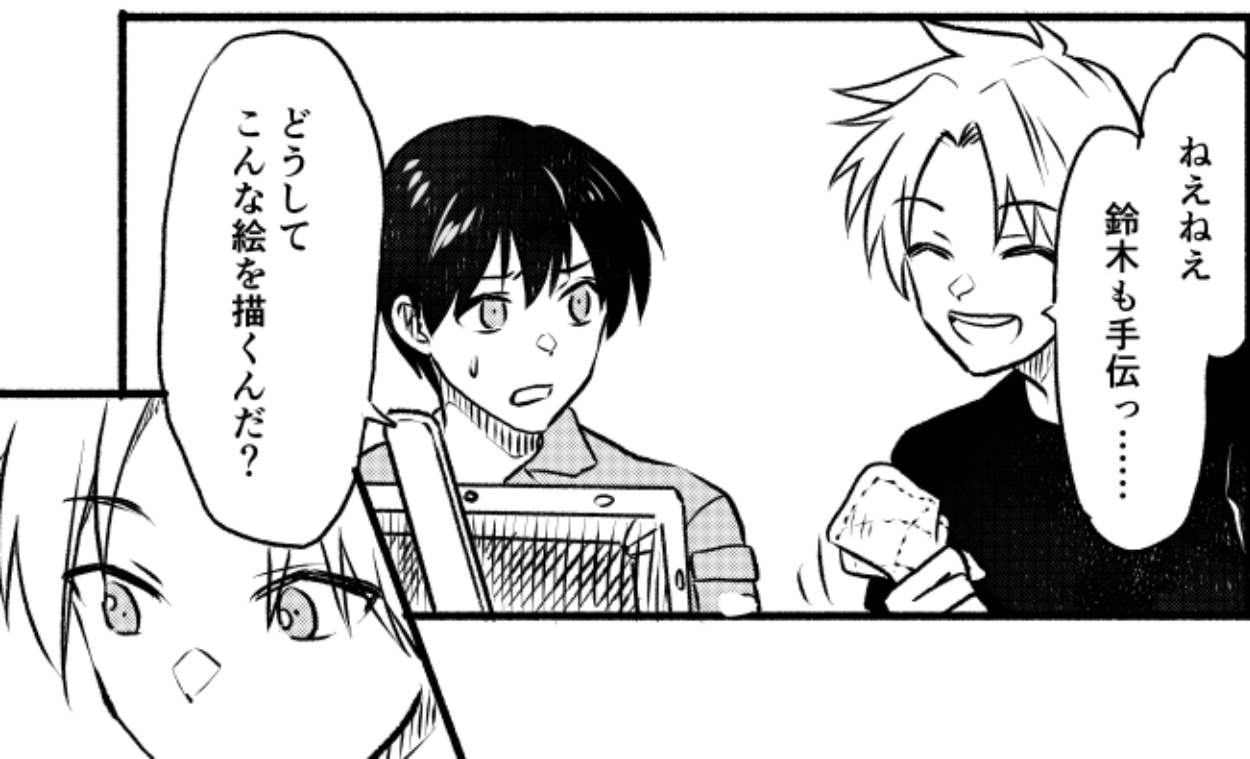
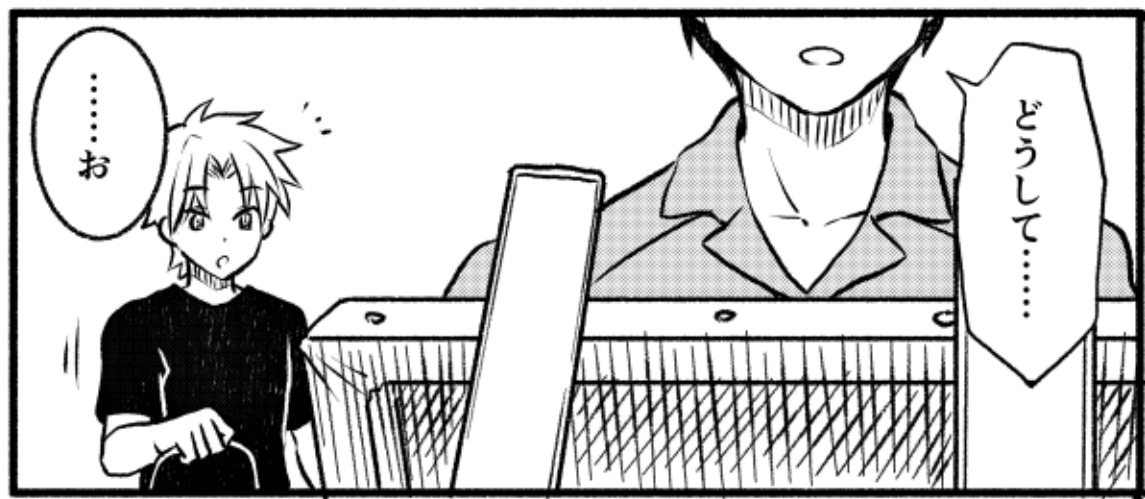
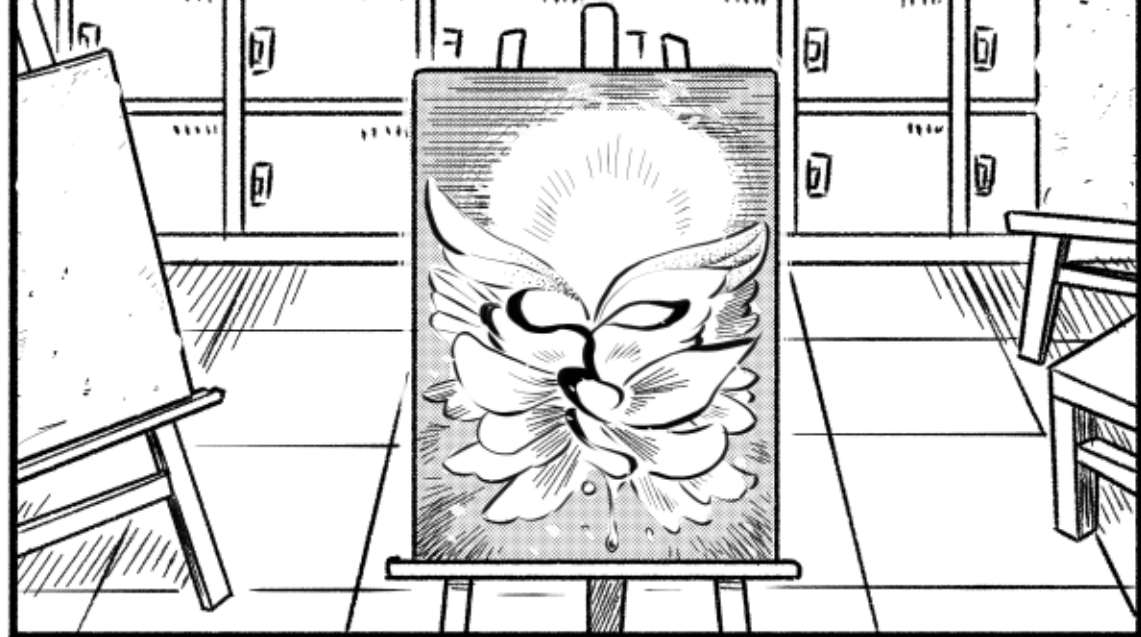


リンク送っとく
タダで読めっから



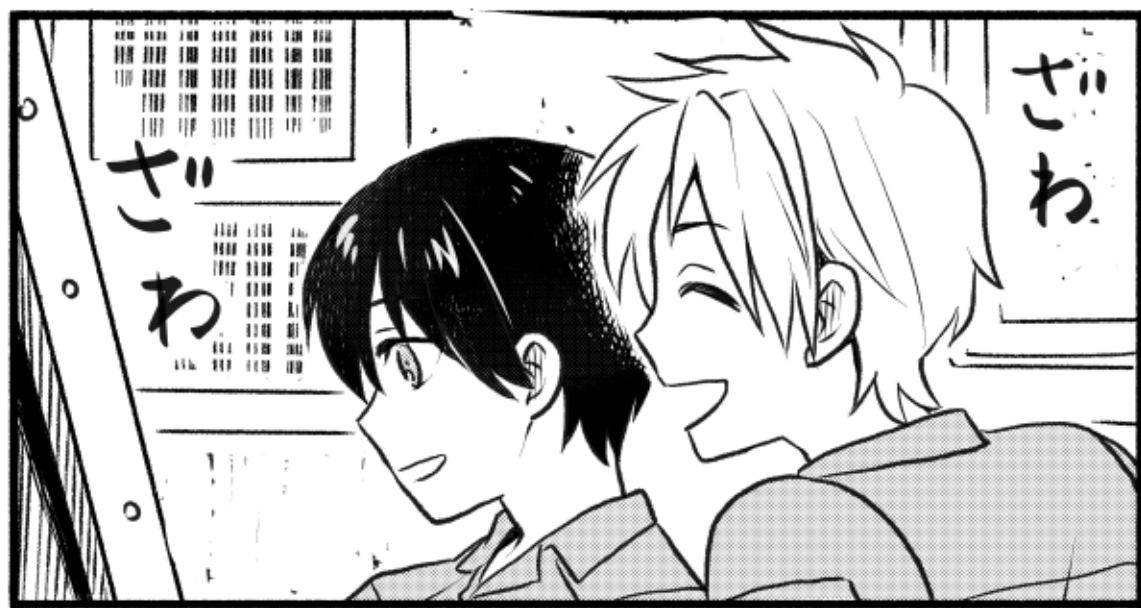


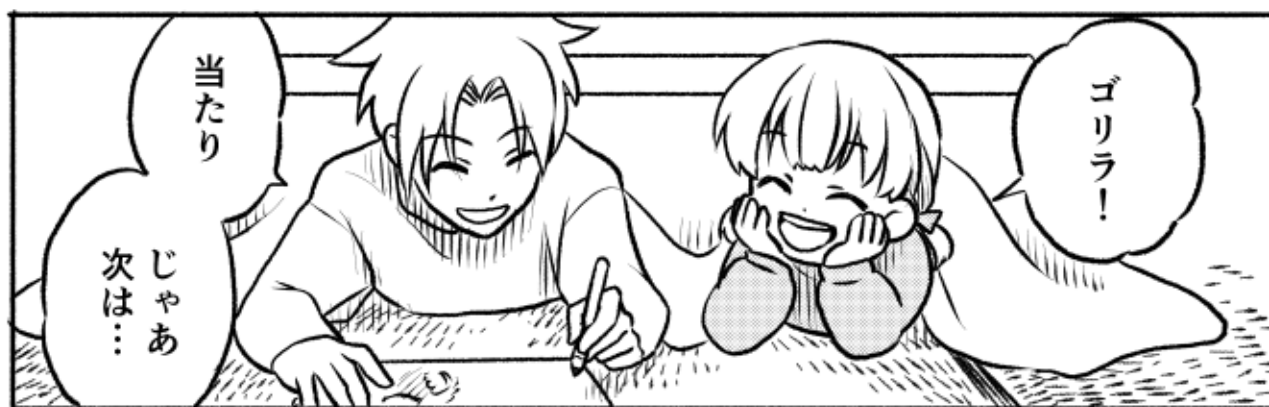
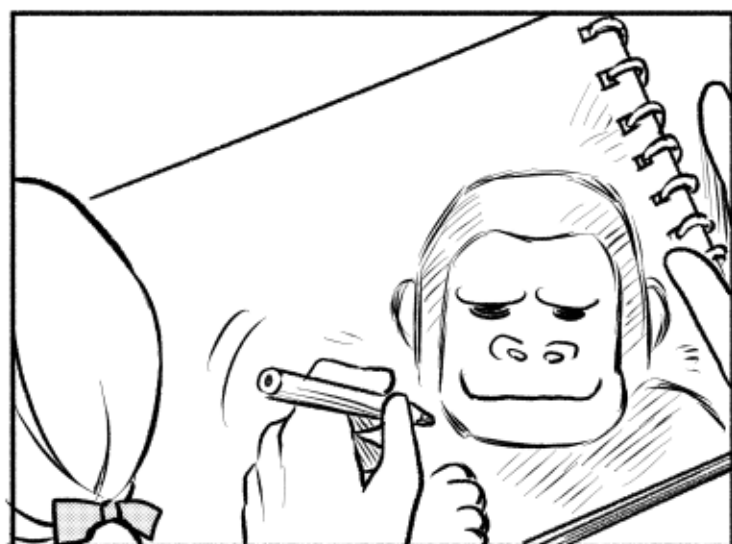










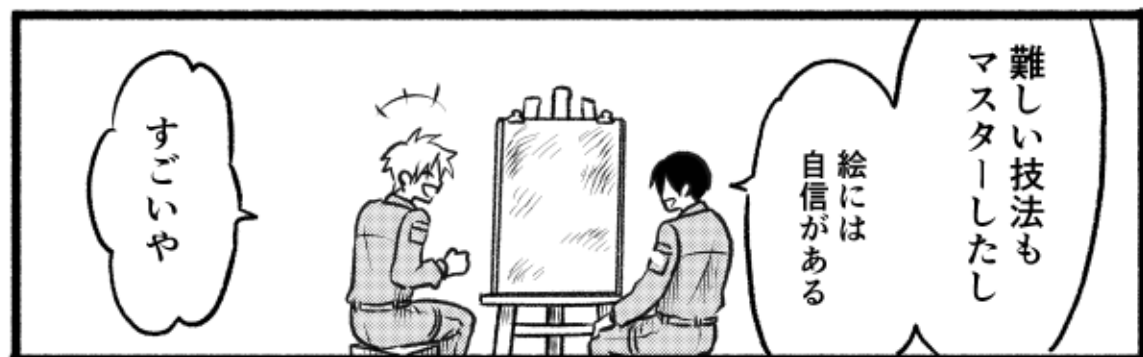








毎日
いっぱい
描いて
練習して
きたんだ



難しい技法も
マスターしたし
絵には
自信がある

すげーや



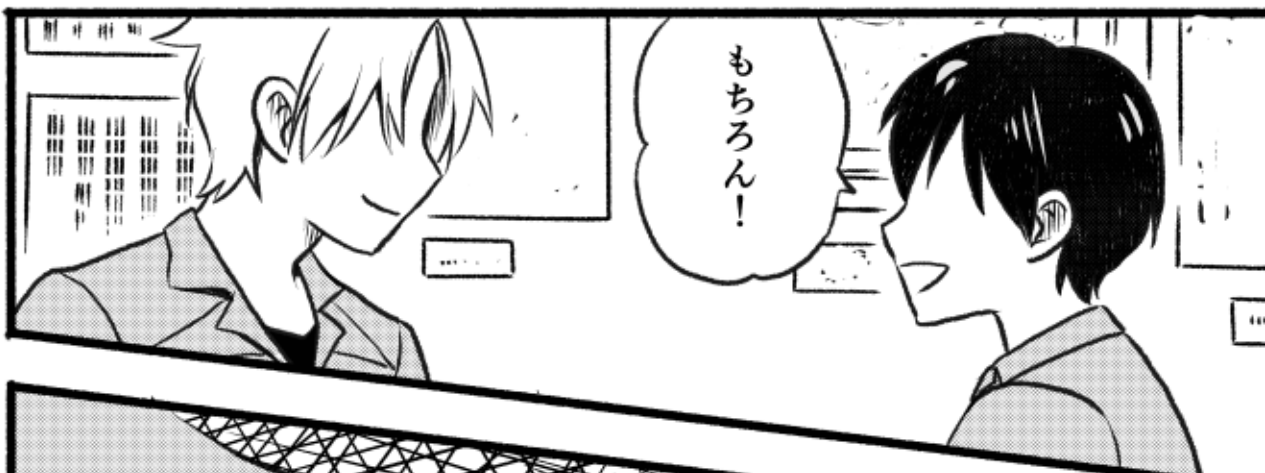
もつといろんな絵が
描きたいだろ?

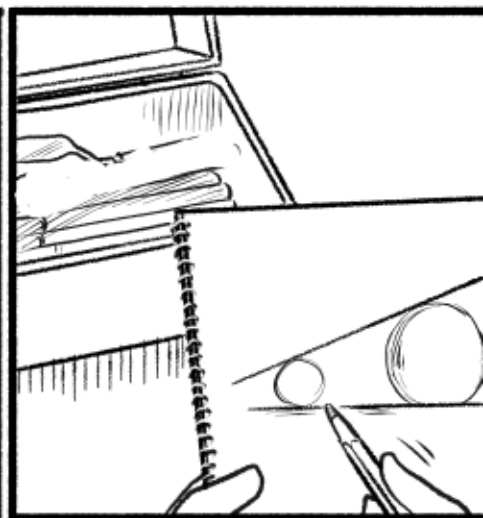


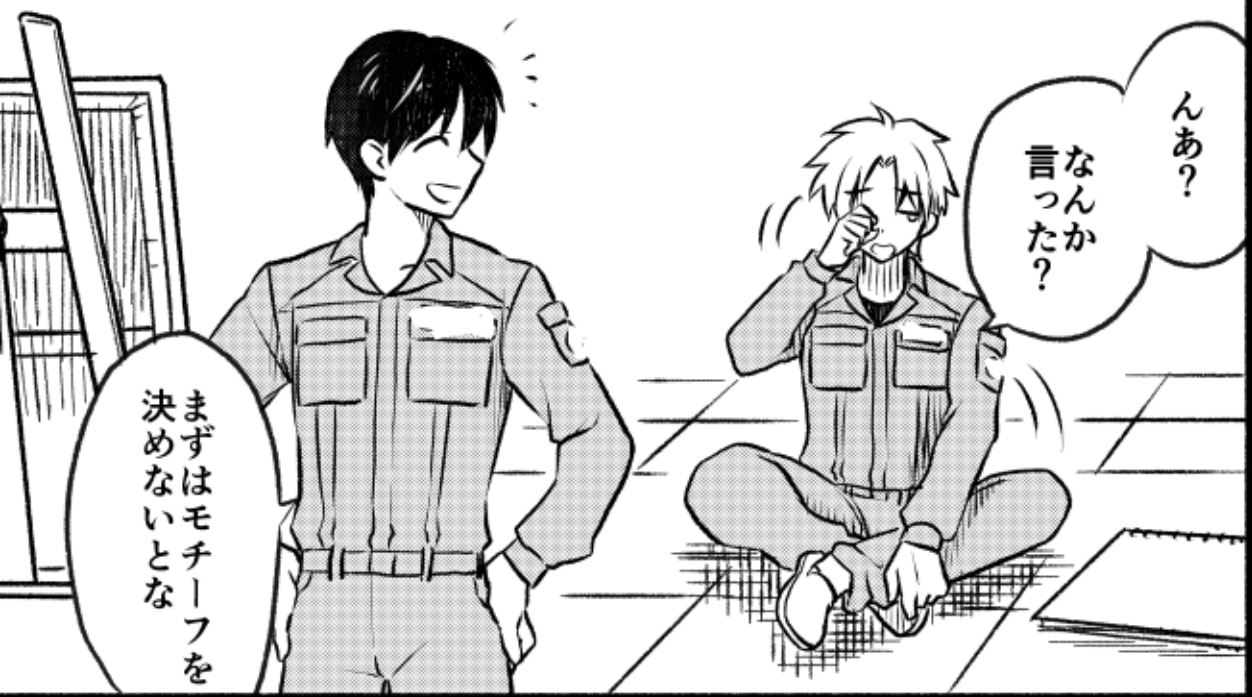
彰

君は正しい絵を
学ぶべきだ

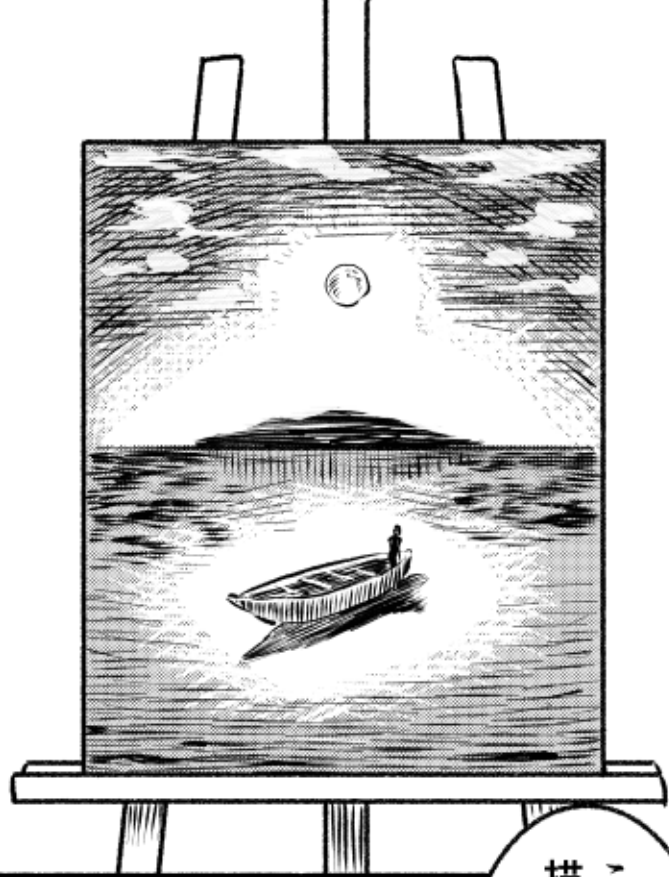












こんな絵が
描けるんだな



完璧とは
言えない
けど……

いい絵に
なったな



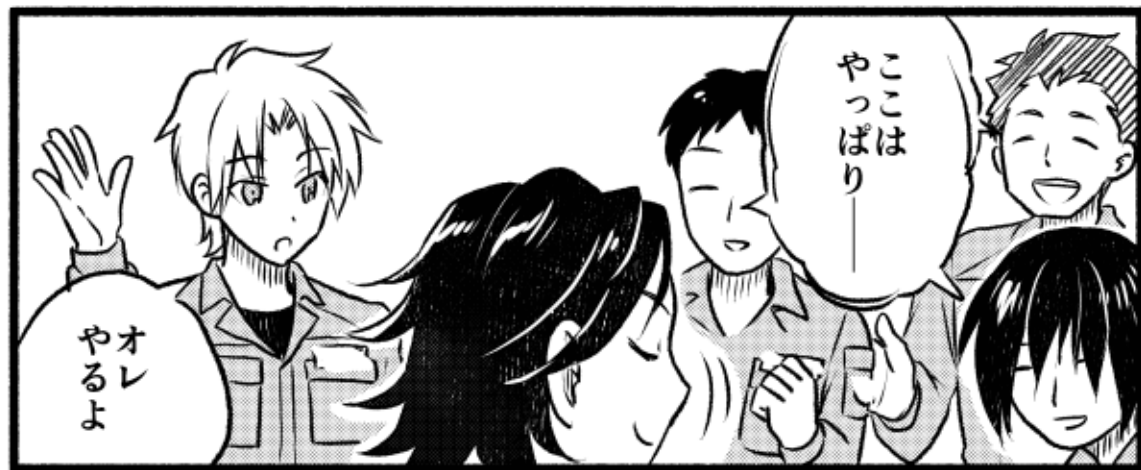


誰がいいと
思う？



まず
テーマだけど……

……それより
発表のリーダー
決めなきゃな



オレ
やるよ

ここは
やっぱり



テーマも
考えてある
これ

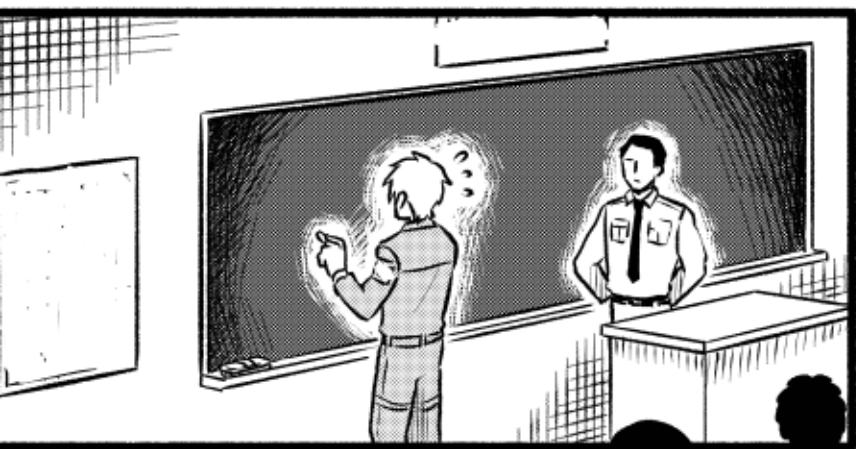
えっ!?

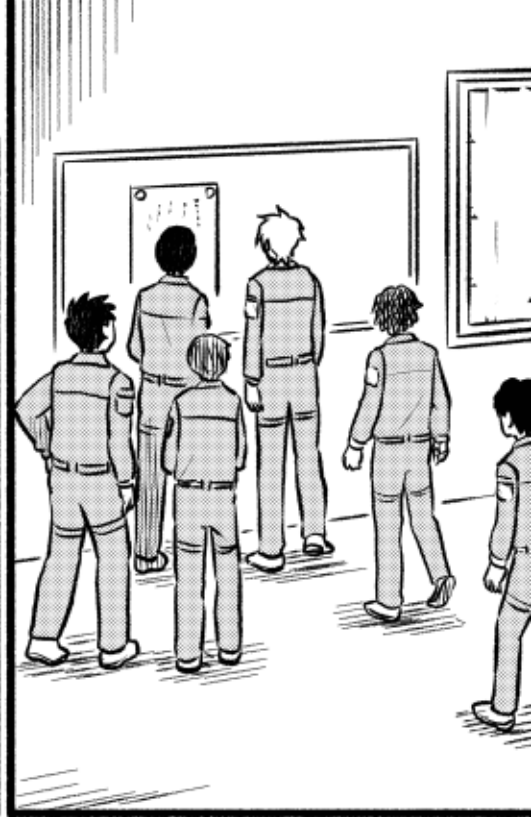
いや……



え







次の者を特例優等賞に選出する

加藤 彰

事由 奉仕活動に
対する貢献による



特例優等賞……



すごいな
彰



そう
特別に見込まれた
ヤツだけが
受けられる

でも
名前しか知らない

何をしたんだ？

わからない

特別な賞……

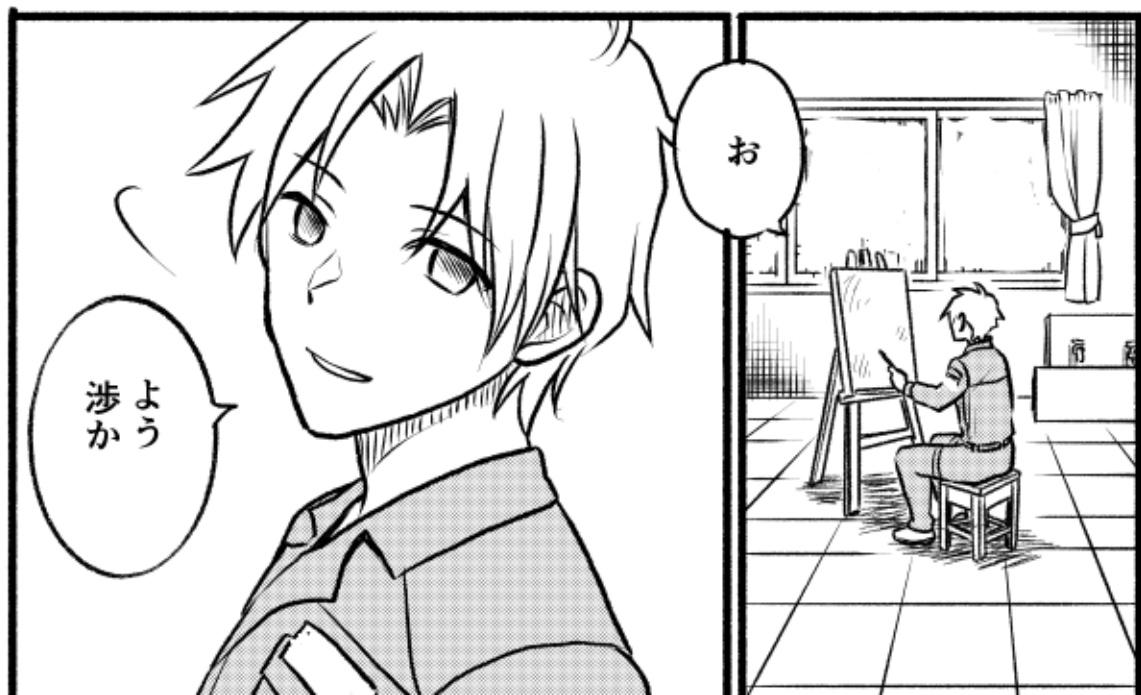
どんな
だろうな

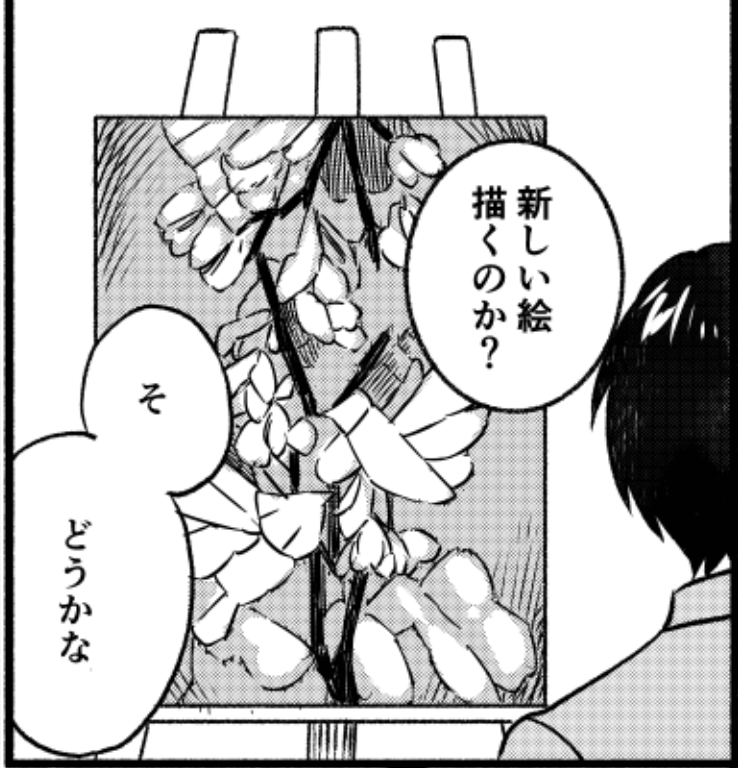
でも
渉が絵を
教えてくれたから

こんな僕でも
すばらしい賞が
とれたんだ

特別優等賞
おめでとう！
加藤君
応援して
いるよ！

グッ















子どもたちの
成長を
手助けしたい



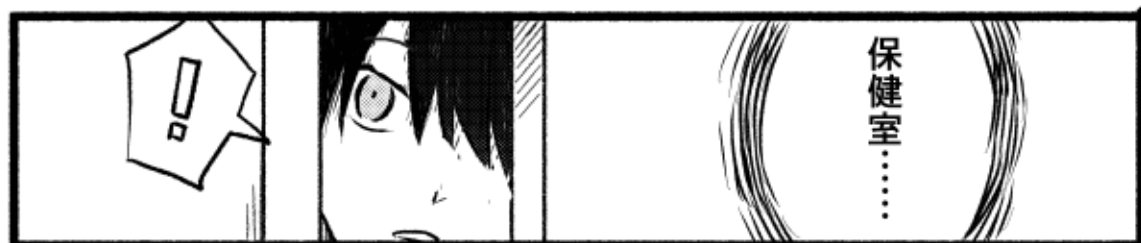
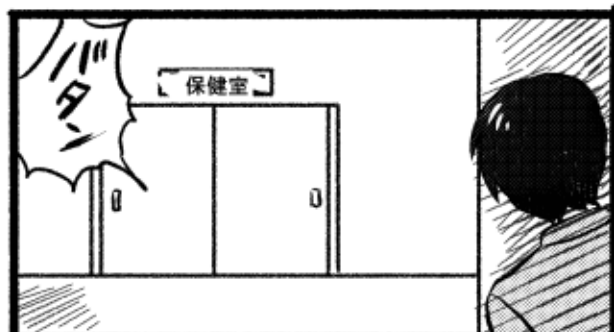
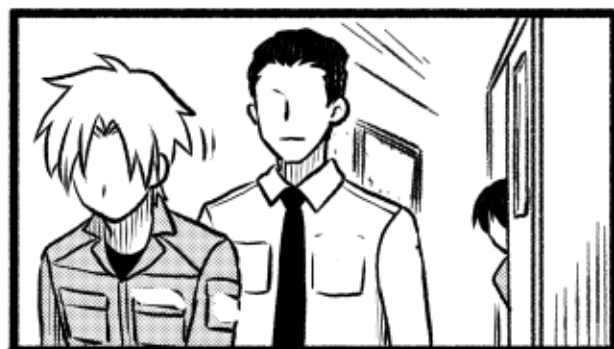
オレ
学校の先生
になるよ

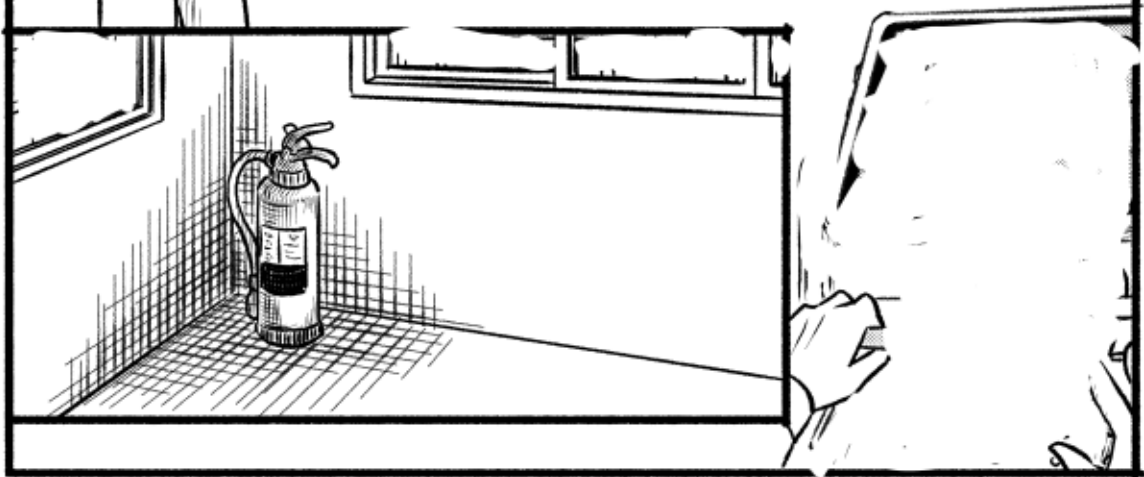
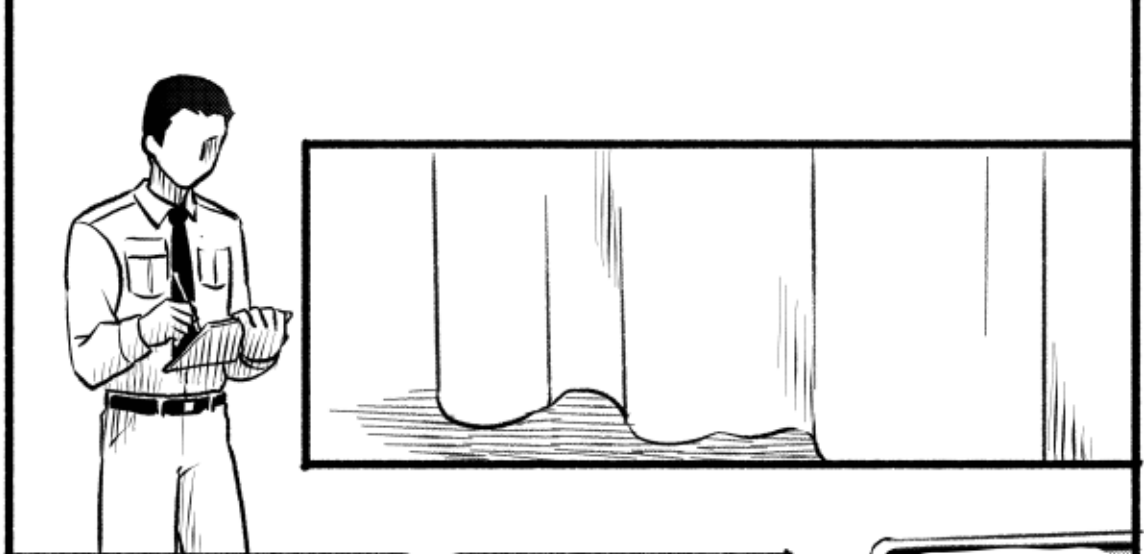


こんなすばらしい場所で
最高の教えを受けられて
本当に幸せだ

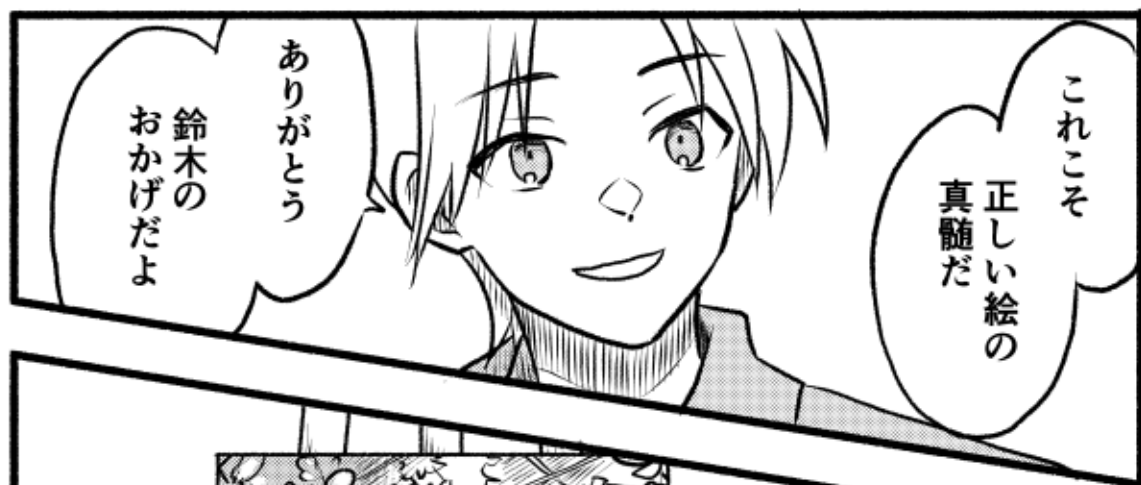
オレは

数週間後









船長は沈む船から
救命ボートで脱出した



ボートには
あと10人乗れるが
海には救助を待つ者が
100人いる

この状況に
船長として
どう向き合うか？

緊急時こそ
合理的に
判断すべきです

上位
10%

残りの10人は
生きる価値がある
順に乗せません

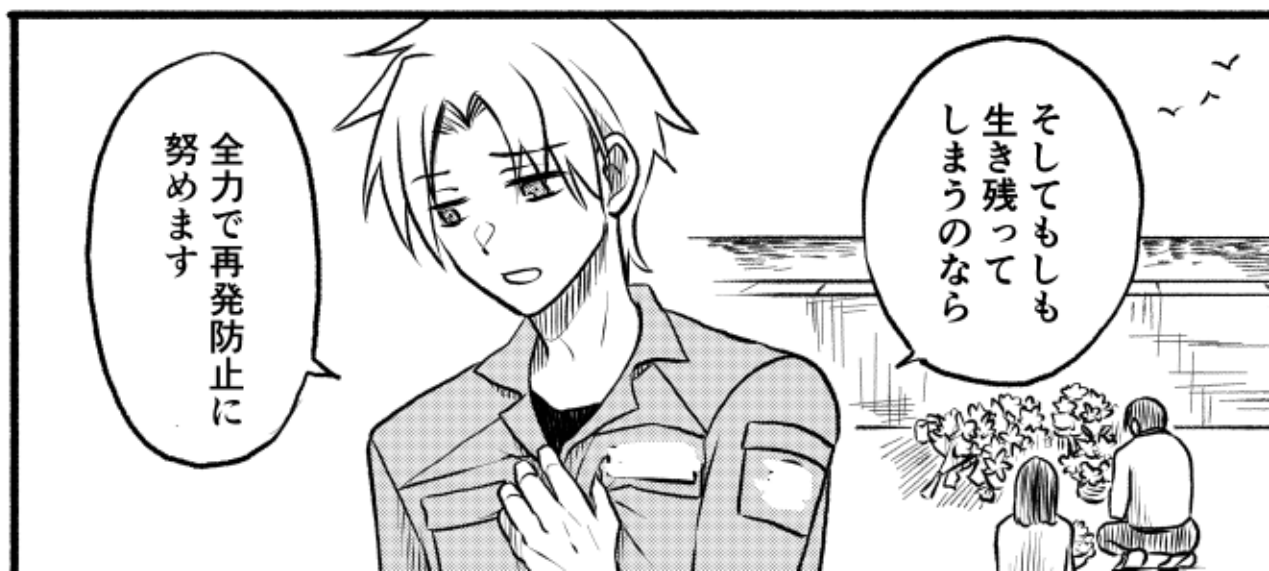
その価値は
どう見極める？

もちろん
健康な若者や
優秀な専門家……

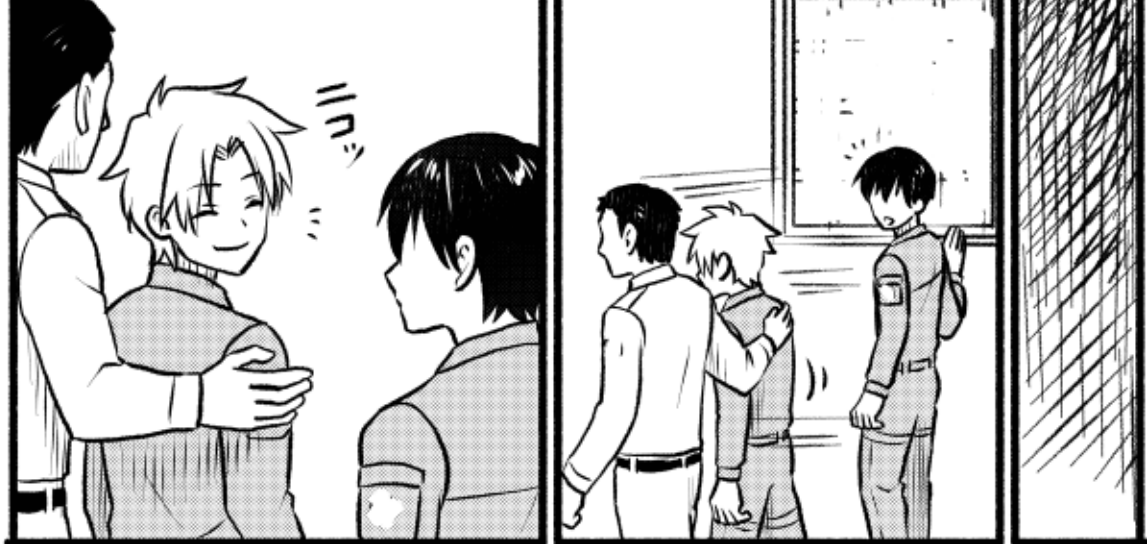
いや
赤ん坊や妊婦の
方がいいのか？

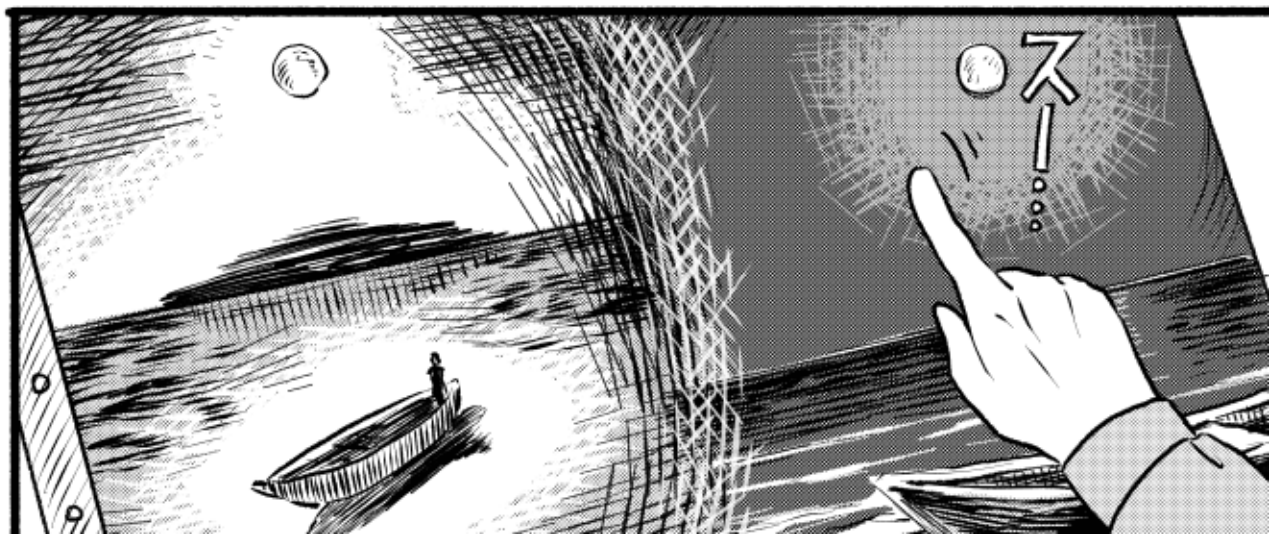
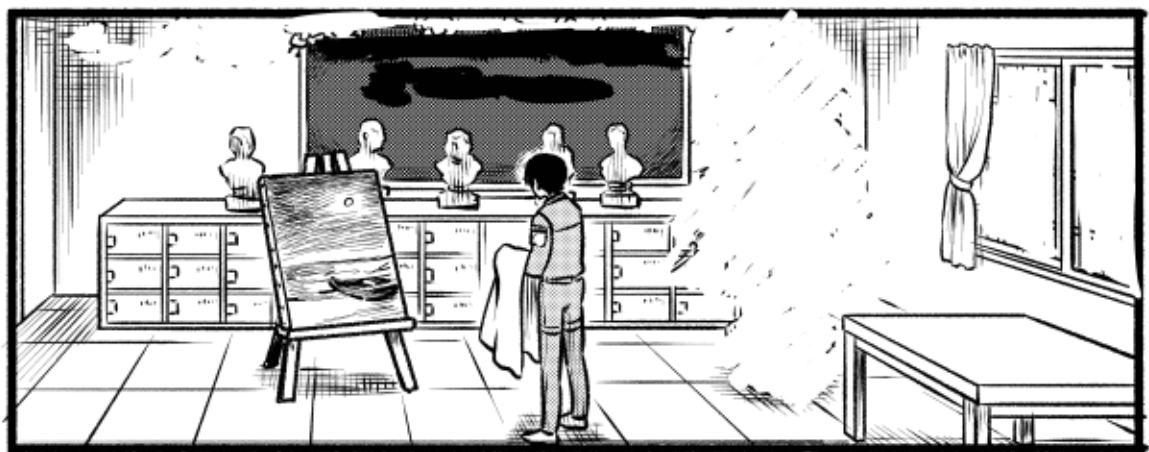
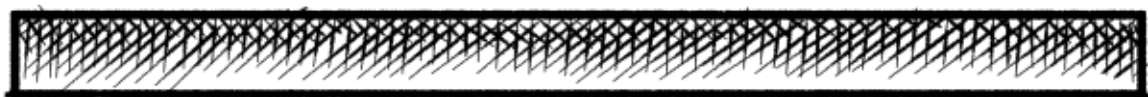
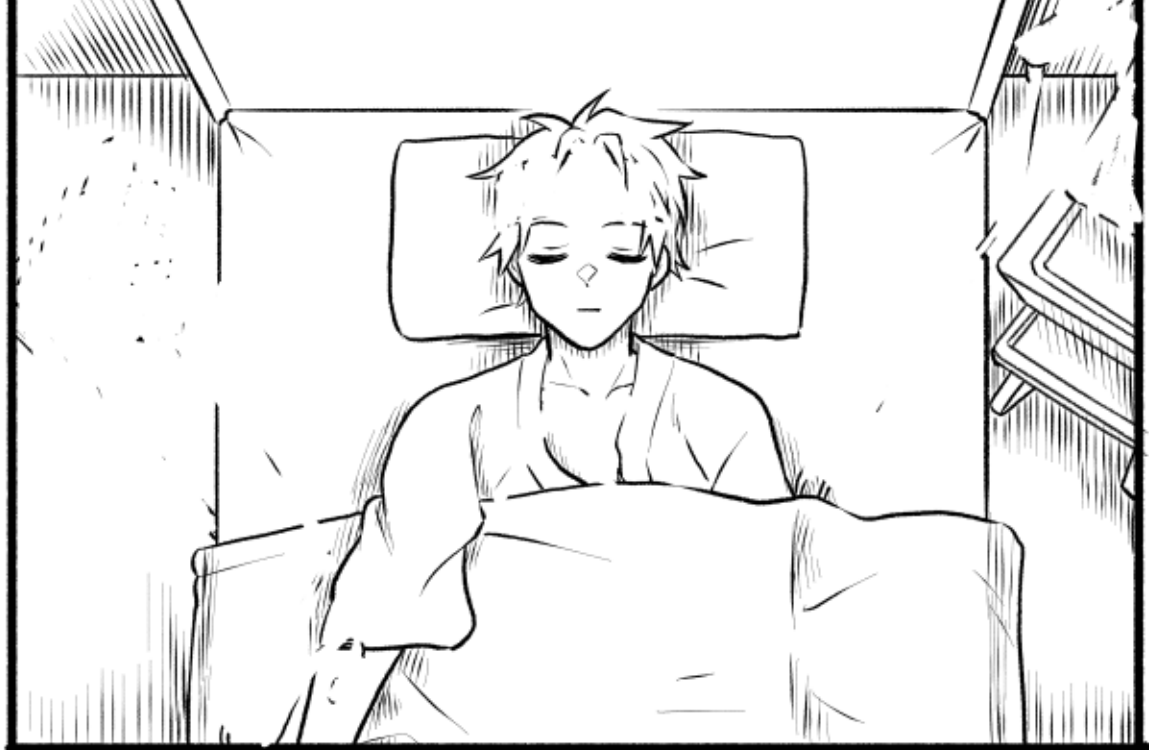
他に意見が
ある者

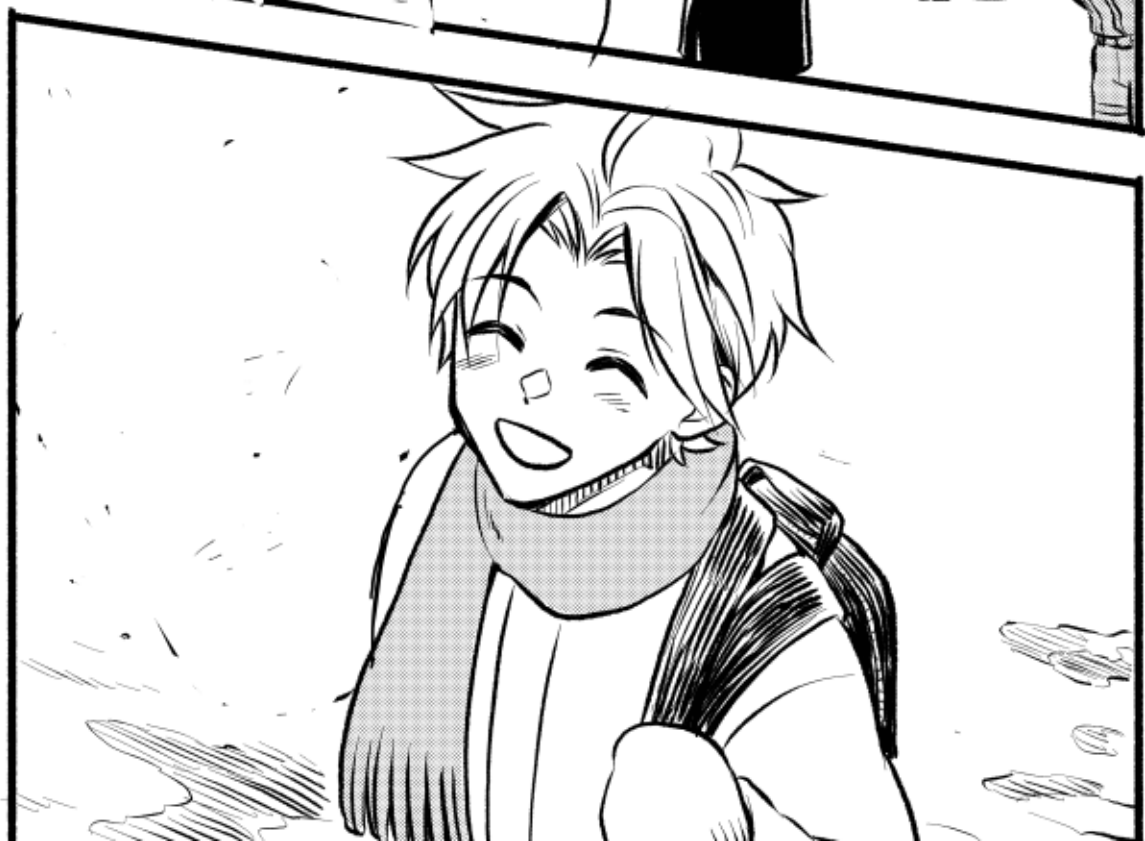
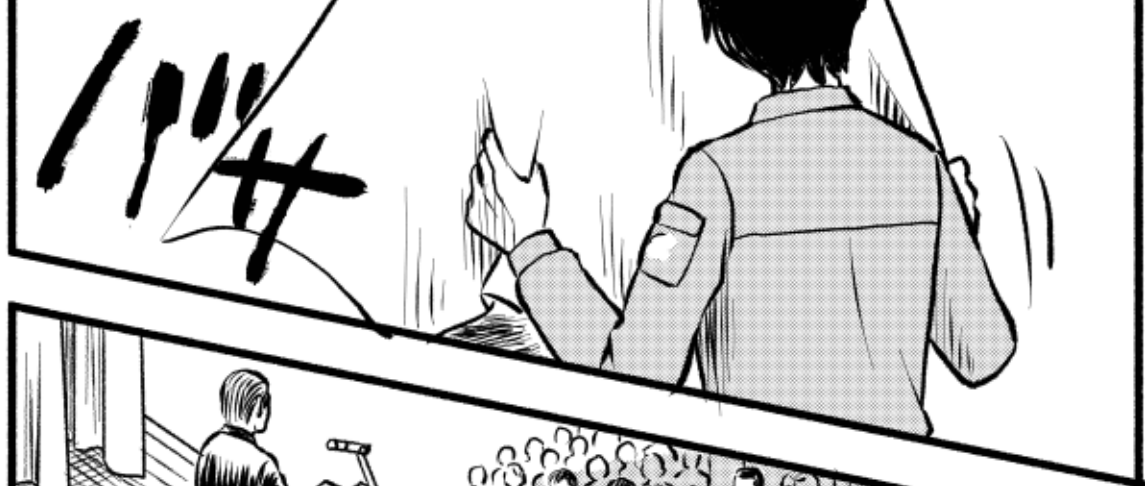


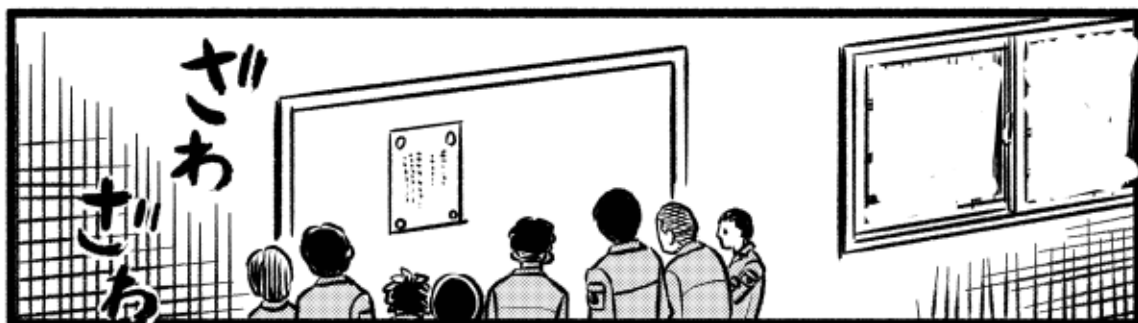












次の者を特例優等賞に選出する

鈴木 渉

事由 素行優等、
授業成績優秀による





僕は

マンガを描きます

